

「宝塚市行財政経営方針 改訂版(案)」 についての意見と市の考え方の公表について

宝塚市では、「宝塚市行財政経営方針 改訂版（案）」策定の趣旨や内容等について、広く公表し、同方針（案）に市民の皆様からの意見を反映するため、意見募集（パブリック・コメント手続）を実施しました。

その結果、市民等の皆様から次のとおり意見をいただきましたので、意見の内容とそれに対する市の考え方を公表します。
この度は、貴重な意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

1 意見の募集期間 ※募集期間は終了しました。

令和7年（2025年）7月1日（火）から令和7年（2025年）7月31日（木）まで

2 意見の募集内容（概要）

「第6次宝塚市総合計画」の着実な推進に向け、令和3年度に「行財政経営方針」を策定し、財政、組織、デジタル・データの各基盤強化などにより、時代にふさわしい行財政経営に取り組んでいます。

これまでの成果や課題を踏まえつつ、社会経済の構造変化や自然災害への備えなど、これまでの発想や手法にとらわれない行財政経営への転換が引き続き求められています。

行財政経営の仕組みや業務の進め方を変革するとともに、市民や企業、大学など多様な主体との協働・共創を一層強化し、誰もが活躍できる環境づくりを進め、多くの人々が住みやすい、住み続けたい、関わりたいと感じられる価値を共に創造し、市民が日々の暮らしに豊かさを実感できるまちの実現を目指して、行財政経営方針を改訂するものです。

3 パブリック・コメントの実施結果

(1) 意見提出者数 1人

(内訳) 持参	0人
郵送	0人
ファクシミリ	0人
電子メール	0人
電子フォーム	1人

(2) 提出意見数 1件

(3) 意見の内容と市の考え方及び見直しの結果

(内訳) 宝塚市行財政経営方針 改訂版(案)に反映した意見	0件
宝塚市行財政経営方針 改訂版(案)に反映しなかった意見	1件
その他	0件

詳細は、別紙「宝塚市行財政経営方針 改訂版(案)」に対するパブリック・コメント手続に基づく意見募集の結果一覧表のとおり

(4) パブリック・コメント手続以外での修正内容

詳細は、別紙「宝塚市行財政経営方針 改訂版(案)」に対するパブリック・コメント手続以外での修正内容一覧表のとおり

4 実施結果の公表方法

パブリック・コメントの実施結果及び意見を反映した宝塚市行財政経営方針 改訂版の概要版・本編は、市ホームページ及び市の窓口にて公表しています。

① 市ホームページ (<http://www.city.takarazuka.hyogo.jp>)

- ・トップページから「宝塚市行財政経営方針 改訂版」で検索するか、または「検索用 ID：1060444」を入力し検索してください。以下の二次元コードからもご確認いただけます。



② 市の窓口

- ・市役所業務改革推進課、市民相談課、各サービスセンター・サービスステーションで公表しています。

5 公表期間

令和7年（2025年）9月1日（月）から令和7年（2025年）9月30日（火）まで

6 お問い合わせ先

〒665-8665 （住所記載不要）市役所 総務部 業務改革推進課

電話番号 0797-77-4571

ファクシミリ 0797-72-1419

電子メールアドレス m-takarazuka0282@city.takarazuka.lg.jp

(別紙)「宝塚市行財政経営方針 改訂版(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

※ ご意見ありがとうございます。

・意見の募集期間 令和7年(2025年) 7月1日(火)～ 7月31日(木)
・提出意見件数 1件

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
1	全般に関する事	-	-	宝塚市議会議員の定数を減らしてほしいです。 市の条例を改定し、現在の26名から次回の市議会議員選挙では23名、そして次々の市議会議員選挙では20名と削減されてはいかがでしょうか。 もちろん人数が多ければ、その分たくさんの宝塚市民から意見を聞けるということも考えられますが、宝塚市の人口がこれから増加するということは考えにくいことです。 それであるならば、なおさら宝塚市議会議員の定数を見直しされてはいかがですか。 定数が減る＝少数精鋭で『本当に宝塚市のことを真摯に考えられる方』が当選し、政策を進めていくほうが良いと考えます。 令和5年の市議会議員選挙では1,296票の議員が当選されましたが、これは有権者数の1%にも満たない方が当選しているということになります（投票者に置き換えても約1.7%しか票を得られていません） その『1%の声を聞く』ということも大切なことではありますが、財政難に陥っている今は痛みを伴う改革が必要なのではないでしょうか。 ぜひともご検討のほどよろしくお願いいたします。	【原案のとおりとします】 議員定数に関するご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございます。 定数の削減は、単なる財政的な合理化にとどまらず、市政における多様な民意の反映や議会機能に影響を及ぼす可能性があるため、慎重な検討が必要であると認識しております。 こうした理由から、議員定数のあり方については、財政状況のみならず、現在の人口構成や議員の担い手不足などの課題も踏まえ、総合的に検討すべき重要な課題であると考えております。 なお、市議会においても議員定数に関する検討が行われており、令和4年度には以下のような結論が示されております。 (参考) R4年度の検討内容について https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/gikai/katsudo/1026320/1046169/1046177/index.html	—

(別紙)「宝塚市行財政経営方針 改訂版(案)」に対するパブリック・コメント手続き以外での修正内容一覧表

* パブリック・コメント実施後に、以下のとおり修正しました。

No.	項目	ページ	行	該当箇所	修正前	修正後	意見区分	修正理由
1	2 【方針4】	8	左側	第一段落 2【方針4】 職員の働きがいの創出 職員一人ひとりが、まちづくりのプロフェッショナルとして使命感を持つことが重要であり、 前例にとらわれず 、能力開発やキャリア支援を充実させ、職員自身の 前例にとらわれない 意識改革や意欲の向上を図り、自ら考え、自らを律し、自ら行動していく職員を育成します。	職員一人ひとりが、まちづくりのプロフェッショナルとして使命感を持つことが重要であり、前例にとらわれず、能力開発やキャリア支援を充実させ、職員自身の意識改革や意欲の向上を図り、自ら考え、自らを律し、自ら行動していく職員を育成します。	職員一人ひとりが、まちづくりのプロフェッショナルとして使命感を持つことが重要であり、能力開発やキャリア支援を充実させ、職員自身の前例にとらわれない意識改革や意欲の向上を図り、自ら考え、自らを律し、自ら行動していく職員を育成します。	1 職員 2 所管課 3 その他 ()	「前例にとらわれない」が掛かる場所が不明確であったため

該当する番号に○をつけてください。